

# 三浦綾子文学講演会

## “にもかかわらず愛されるとき奇蹟は起きる”

～三浦綾子の自伝『道ありき』が語る希望

『氷点』『塩狩峠』の作家三浦綾子さんをご存知でしょうか？  
戦時中軍国教師であったことから、敗戦後に大きな挫折絶望に陥った彼女は、生きる目的を喪い、罪責感にさいなまれました。さらには当時は死の病であった結核、脊椎カリエスとの闘い、自殺未遂、愛する人の死…と、多くの苦難を通りながら、綾子さんは、希望の物語とことばを語りつづける作家になってゆきました。この三浦綾子さんの人生。彼女を生き返らせ、成長させ、支え、励まし、導いたものは何だったのでしょうか。彼女の人生と文学はその秘密を語り、私たちにも希望を与えてくれます。講演では綾子さんの自伝『道ありき』を中心に、その核心を分かりやすくお伝えしたいと思います。



# 2018年4月30日（月） 午後2時開演

参加料 無料（自由献金）

会場 有珠聖公会バチラー夫妻記念堂  
伊達市向有珠町119番地

講師 森下 辰衛 先生

### 講師紹介

1962年岡山県生まれ。1992年から14年間、福岡女学院大学で日本文学やキリスト教文学の授業を担当。2006年家族と共に『氷点』の舞台、見本林のある旭川市神楽に移住し、三浦綾子記念文学館特別研究員となる。2007年福岡女学院を退職。現在は全国三浦綾子読書会代表として日本中を駆け回りながら、三浦綾子の心を語り伝えている。編著に『水野源三精選詩集』、『「氷点」解凍』など。NHKラジオ深夜便、「明日へのことば」、ライフラインなどに出演。



主催 三浦綾子読書会 協賛 有珠聖公会バチラー夫妻記念堂  
連絡先 大町司祭 090-7644-4806 茅野(カヤノ) 080-1896-0067